



健康ガイド

問 健康推進課(佐屋保健センター)
☎(28)5833

定期の予防接種の種類	対象	接種場所	接種回数	備考
高齢者肺炎球菌	①満65歳の方 ②満60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器に障害のある方(身体障害者手帳1級程度)またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害のある方	愛西市、津島市、弥富市、あま市、海部郡の指定医療機関	1回	①65歳到達月の翌月当初に個人通知します。自己負担金については、通知をご覧ください。 ②事前に手続きが必要です。健康推進課へお問い合わせください。 ※過去に接種したことがある方は、対象外。
高齢者带状疱疹予防接種	①年度内に65歳を迎える方 ②60歳以上65歳未満の方で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害のある方 ③【令和7年度から11年度までの経過措置】年度内に70・75・80・85・90・95・100歳以上となる方		①生ワクチン「ビケン」: 1回 ②組換えワクチン「シングリックス」: 2回 ※①、②いずれか一方	対象者に個人通知をしています。自己負担金については、通知をご覧ください。 定期接種の対象として接種できるのは生涯1度限りです。 詳細は市ホームページをご覧ください。
HPV感染症ワクチン(子宮頸がんワクチン)	①小学校6年生から高校1年生相当の女子 ②平成9年4月2日から平成21年4月1日生まれの女子かつ、令和4年4月1日から令和7年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種している方で、接種が完了していない方		2回/3回	対象者は無料で接種できます。 ※対象②に該当される方は接種期限が令和8年3月31日まで延長されました。 詳細は市ホームページをご覧ください。

愛知県広域予防接種について

予防接種について、疾病や里帰りなどの事情がある場合、海部・津島地区以外の医療機関(愛知県内の広域予防接種協力医療機関)で接種することができます。事前に手続きが必要となりますので、健康推進課へお問い合わせください。

带状疱疹予防接種(任意接種)について

任意接種による带状疱疹予防接種費用の一部を助成しています。定期接種化に伴い、令和7年4月からは50歳以上61歳未満の方(年度内に61歳になる方を除く)が対象です。詳細は市ホームページをご覧ください。



大人の風しんワクチン接種費用の助成について

市内在住で、妊娠を予定または希望している女性(妊娠中の方を除く)で、抗体価が低いと判定された方に対し、風しんワクチンまたは麻疹風しん混合ワクチンの接種費用の一部を助成します。

なお、風しんの抗体検査は、愛知県が費用助成を行っています。(ただし、対象者に条件があります。)

特別の理由による任意予防接種費用の助成について

骨髄移植手術などにより、接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないと医師に判断された方に対して、再接種にかかる費用の助成をしています。再接種の前に健康推進課で手続きが必要です。

歯と口の健康講座 糖尿病と歯周病

糖尿病はインスリンが十分に働かないために血液中のブドウ糖(血糖)が増えてしまう病気です。インスリンは、膵臓から出るホルモンであり血糖を一定の範囲に保つ働きを担っています。血糖の濃度(血糖値)が高いまま放置されると血管が傷つき、神経障害、網膜症、腎症といった重い病気につながります。

糖尿病は歯周病と深い関係があります。糖尿病を患う方は歯周病になりやすく、一方で歯周病になると血糖コントロールが悪くなります。

出血や膿を出しているような歯肉からは炎症に関連した化学物質が血管を經由して体中に放出されます。この化学物質はインスリンの働きを悪くし糖尿病を悪化させます。逆に歯周病の治療をすると血糖コントロールが改善されます。最近では内科医より糖尿病患者に対して歯科への受診勧告が出される場合があります。医科と歯科が連携することにより糖尿病の治療効果が高まります。

日本人の糖尿病患者数はその可

能性を否定できない人を含めると2千万人と言われています。8~9人に1人がかかっていることとなります。内科で糖尿病治療をしていて血糖値等改善されない場合は歯科での歯周病検診を受けてください。歯周病はサイレントディーズ(沈黙の病気)と言われ、痛みなどの症状が少なく、気づかないうちに進行してしまう病気です。その歯周病が血糖コントロールを阻害しているかもしれません。糖尿病と診断された方は合わせて歯科受診を考えましょう。

(海部歯科医師会)

